縮丸データ互換表

各製品における使用可能な形式／インタフェース／モード

製品名称 ＼ 形式	FLDC1											FLDC3											SLC										FLDC1 (BATCH)		FLDC3 (BATCH)		SLC (BATCH)	
インタフェース	COMMAND		API					GUI				UTILITY		COMMAND		API					GUI				UTILITY		COMMAND		API					GUI				API	GUI	API	GUI	API	GUI
モード	単一ファイル	複数ファイル	単一ファイル	複数ファイル	バッファ	暗号化ファイル	単一ファイル	複数ファイル	暗号化ファイル	PS	DA	単一ファイル	複数ファイル	単一ファイル	複数ファイル	バッファ	暗号化ファイル	単一ファイル	複数ファイル	暗号化ファイル	PS	DA	単一ファイル	複数ファイル	単一ファイル	複数ファイル	バッファ	暗号化ファイル	単一ファイル	複数ファイル	暗号化ファイル	PS	DA	単一ファイル	単一ファイル	単一ファイル	単一ファイル	単一ファイル	単一ファイル
縮丸V5（Windows） 注1	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○
縮丸V4（Windows）	○	○	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○	○
縮丸 Ｖ３	○	○	○	○	○		○	○				○	○	○	○	○		○	○															○	○	○	○		
縮丸 for Windows95(32)/II	○		○		○									○																								
縮丸V4（Solaris）	○	○	○	○	○									○	○	○	○	○																				
SunOS 縮丸 V01	○		○		○																																		
OSIV/MSP 縮丸 V01					○																																		
OSIV/XSP 縮丸 V01					○																																		
OSIV/MSP AFII 縮丸V3					○					○	○					○					○	○																	
SXO 縮丸			○		○																																		

＊形式/インタフェース/モードが同一であれば、各製品間でデータ互換可能です。
注1．縮丸V5では、圧縮/暗号、解凍/復元処理時にWindowsのテンポラリー領域を使用します。
　　作成される書庫と同程度の空き容量が必要となります。

インタフェース／モードにおける互換表

インタフェース ＼ インタフェース	モード	COMMAND		API				GUI			UTILITY		API(BATCH)	GUI(BATCH)
		単一ファイル	複数ファイル	単一ファイル	複数ファイル	バッファ	暗号化ファイル	単一ファイル	複数ファイル	暗号化ファイル	PS	DA	単一ファイル	単一ファイル
COMMAND	単一ファイル	○		○		△		○						
	複数ファイル		○		○				○					
API	単一ファイル	○		○		△		○						
	複数ファイル		○		○				○					
	バッファ	△		△		○		△						
	暗号化ファイル						○			○				
GUI	単一ファイル	○		○		△		○						
	複数ファイル		○		○				○					
	暗号化ファイル						○			○				
UTILITY	PS										○			
	DA											○		
API(BATCH)	単一ファイル												○	○
GUI(BATCH)	単一ファイル												○	○

＊形式が同一であれば各インターフェース／モードで次の○はデータ互換可能です。

△：依頼元にてファイルを読み込み、バッファとして縮丸に処理を依頼する
　　ことにより可能。但し、以下の点に注意が必要。

1. Solaris, XSP, SURE版では、ファイル長はバッファの制限長までとなる。
2. MSP版では、継続インタフェースを使用する事によりファイル長の制限なし。